

デジタルビデオレコーダー クイックスタート ガイド



TS-T000VRシリーズ SE-7200HQHI-K1シリーズ

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠に有難う御座いました。このクイックスタートガイドをよくお読みいただき、正しくご使用ください。

なお本ガイドは、弊社取扱防犯カメラとの接続することを前提に作成されております。他社製品でのご利用はサポート外となります。あらかじめご了承ください。



もくじ

はじめに

- クイックスタートガイドについて
- 商標について
- 免責事項
- 規制情報
 - FCCの情報 ●FCCの条件 ●EU適合規格
- 記号について
- 安全指示
- デバイスを接続する前にご確認ください

取り扱いかた

- [第1章] 背面パネルインターフェースについて
- [第2章] 設置と接続
 - 2-1: デジタルビデオレコーダー(DVR)の設置
 - 2-2: ハードディスクドライブ(HDD)の取り付け
 - 2-3: RS-485とコントローラーの接続
- [第3章] メニュー操作
 - 3-1: スタートアップ
 - 3-2: デバイスのアクティベーション
 - 3-3: ロック解除パターンを設定する
 - 3-4: ログアウト、シャットダウン、再起動について
 - 3-5: ユーザーログイン
 - 3-6: 信号入力の設定
 - 3-7: IPカメラの追加
 - 3-8: PoCカメラを接続する
 - 3-9: ネットワーク設定
 - 3-10: ライブビュー
 - 3-11: 録画設定
 - 3-12: 再生
 - 3-13: バックアップ方法
- [第4章] ウェブブラウザによるアクセス

定期点検・保守について

保証期間内であれば、保証内容に合わせてサポート対応いたします。本製品の保証につきましては製品仕様書をご確認ください。

保証期間経過後の修理について
弊社サポートまでご相談ください。
修理可能な場合、ご希望により有償にて修理対応いたします。

修理をご依頼されるときは、下記の事項を添えてサポートセンターまでご連絡ください。

- 1) 故障の状況(できるだけ詳しく)
- 2) 製品の型番
- 3) シリアルナンバー
- 4) お買い上げ年月日がわかる資料
- 5) お名前、ご住所
- 6) ご連絡先(メールまたは電話番号)

お問い合わせ

お問い合わせは、弊社ホームページのお問い合わせフォームよりご連絡ください。(24時間受付)
※土日祝日、季節休暇および弊社休業日を除く5営業日以内にご連絡申し上げます。

<https://miraitech.co.jp/>

【販売元】株式会社 旭東みらいテクノロジー 大阪市北区西天満5-9-3

はじめに

クイックスタートガイドについて

- 本ガイドは弊社取り扱いデジタルビデオレコーダー(DVR)に適用されます。本ガイドには製品の使用と管理の手順が含まれています。写真、チャート、画像、その他すべての情報は、説明のために掲載しております。
- 本ガイドに含まれる情報はファームウェアのアップデートやその他の理由により、予告なしに変更される場合がございます。ご了承ください。

商標について

記載されている全ての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属いたします。

免責事項

弊社はDVR本体の無茶な操作や、インターネットにアクセスできる製品のプライバシーなどについては一切責任を負いかねます。またサイバー攻撃やハッカー攻撃に遭われた場合なども、同様に弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

規制情報

FCCの情報 責任者によって明示的に承認されていない変更または修正にご注意ください。コンプライアンスにより、機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合がございます。

[FCC準拠]

- この機器はテスト済みであり、クラスAデジタルの制限に準拠しています。
- これらの制限は、機器が商業環境で操作される場合の有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。
- この装置は無線周波数エネルギーを放射することができるため、指示に従って仕様や設置をされていない場合、手動および無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。その場合はお客様側で費用を負担していただく必要がございます。

FCCの条件

このデバイスは、FCC規則パート15に準拠しています。操作には、次の2つの条件が適用されます。
(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こさない可能性があります。
(2) このデバイスは、危険される干渉を含め、受信した干渉はすべて受け入れます。

EU適合規格

この製品、および条件に当てはまる付属のアクセサリに下記の記号が付いています。したがって、EMCの下にリストされている該当するヨーロッパ規格に準拠します。

●2014/30 / EU、LVD指令
●2014/35 / EU、RoHS指令
●2011/65 / EU
●2012/19 / EU(WEEE指令)

CE RoHS

この記号が付いている製品は、廃棄方法が決められています。適切にリサイクルするために、この製品を同等の新しい機器を購入した場合は最寄りのサプライヤー、または次の場所で廃棄してください。
詳しくは、以下のウェブサイトをご参照ください。
www.recyclethis.info

●2006/66 / EC (バッテリー指令)

この製品には、次のように廃棄できないバッテリーが含まれています。バッテリー記号は下記を参照してください。
●Cd: カドミウム ●Pb: 鉛 ●Hg: 水銀

適切にリサイクルするために、バッテリーをサプライヤーまたは指定された収集場所へお持ちください。
詳しくは、以下のウェブサイトをご参照ください。
www.recyclethis.info

その他

●カナダ産業省 ICES-003コンプライアンス
このデバイスは、CAN ICES-3(A) / NMB-3(A)規格の要件を満たしています。

記号について

本マニュアルに記載されている記号は、次のように定義されています。

チェックポイント	使用にあたり重要なポイントや補足などを記載しています。
警告	危険性が潜んでいる項目について記載しています。

安全指示

- パスワード、およびその他セキュリティに関する設定・管理について弊社は一切責任を負いかねます。設置者および利用者は、第三者に知られないように適切な設定および管理を行ってください。
- 本製品の分解、修理または改造は、火災や感電、故障の原因となりますのでお控えください。
- 1つの電源アダプターに複数のデバイスを接続しないでください。アダプターの過負荷は過熱や火災の原因となる可能性があります。
- 製品を使用する際には、各地域ごとの電気安全規制を厳守してください。
- 入力電圧は、SELV(安全超低電圧)と制限付き電源の両方を満たす必要があります。IEC60950-1規格に準拠したDC48VまたはDC12Vとなります。
- 異常(煙、異音、異臭など)が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き弊社サポートまでご連絡ください。

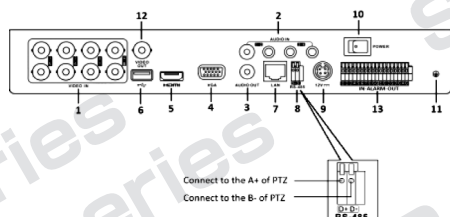
デバイスを接続する前にご確認ください

- 本製品は屋内専用です。ほこりのない、換気しやすい環境に設置されていることをご確認ください。
- 高温多湿を避け、液体がかからない場所に設置されていることをご確認ください。
- 設置条件(2-1参照)が仕様を満たしているかご確認ください。
- ユニットがラックや棚などにしっかり固定されていることをご確認ください。
- 落下などにより大きな衝撃を与えると損傷する可能性があります。
- 本製品は無停電電源装置(UPS)と組み合わせてのご使用を推奨しております。
- アクセサリや周辺機器を接続および切断をする前に、ユニットの電源をお切りください。
- 工場で推奨されているハードディスクドライブ(HDD)をご使用ください。
- バッテリーの不適切な使用または交換は爆発の危険性がございますので、同じものもしくは同等製品をご使用ください。また、バッテリーの廃棄は各自治体の指示に従ってください。
- プラグが電源ソケットにしっかりと接続されていることをご確認ください。

取り扱いかた

[第1章] 背面パネルインターフェースについて

背面パネルインターフェースは製品によって異なります。標準モデルの背面パネルインターフェース構成は右のリストをご参照ください。



01	ビデオ入力	・Turbo HD ・アナログビデオ入力用BNCインターフェイス
02	音声入力	RCAコネクタ
03	音声出力	RCAコネクタ
04	VGA	DB15出力用DB9コネクタローカルビデオ出力とメニューを表示
05	HDMIインターフェース	HDMIビデオ出力コネクタ
06	USBインターフェース	追加デバイス用USBポート
07	LAN	ネットワーク用コネクタ
08	RS-485インターフェース	RS-485デバイス用コネクタ
09	電源	DC48VまたはDC12V
10	電源スイッチ	デバイスのオン/オフスイッチ
11	GND	接地
12	ビデオ出力	ビデオ出力用BNCコネクタ
13	アラーム入力/出力	アラーム入力/出力用コネクタ

[第2章] 設置と接続

2-1: デジタルビデオレコーダー(DVR)の設置

DVR設置条件

- ラックへの取り付けにはブラケットなどをご使用ください。
- オーディオケーブルとビデオケーブル用の十分なスペースを確保してください。
- ケーブルを配線するときは、ケーブルの曲げ半径が直径の5倍以上であることをご確認ください。
- ラックに取り付けられたデバイス間には、少なくとも2cm(約0.75インチ)のスペースを確保してください。
- DVRが接地されていることをご確認ください。
- 環境温度-10~55℃(14~131°F)、環境湿度10~90%の範囲内でご使用ください。

2-2: ハードディスクドライブ(HDD)の取り付け

始める前に

ハードディスクドライブ(HDD)を取り付ける前に、デバイスの電源が切断されていることを確認してください。
取り付けには工場推奨されているHDDを使用する必要があります。

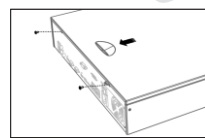
【必要な工具】 クロスドライバー

(1) ブラケットの取り付け(別売パーツ必要)

デバイスのカバーを取り外し、HDDを内部ブラケットに取り付ける必要がある場合は、「ブラケットの取り付け」を行います。

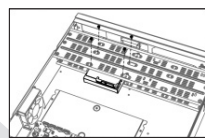
Step.1

背面のネジを緩め、デバイスからカバーを取り外します。



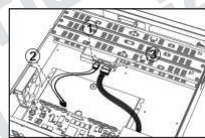
Step.2

HDDをネジでブラケットに固定します。



Step.3

データケーブルと電源ケーブルを接続します。



- ① データケーブルの一方の端をデバイスのマザーボードに接続し、もう一方の端をHDDに接続します。
- ② 電源ケーブルをHDDに接続します。

チェックポイント

下層のブラケットにHDDを取り付けるには、まず上層のブラケットを取り外します。

Step.4

(オプション) Step.1~3までの手順を繰り返し、他のHDDを取り付けます。

Step.5

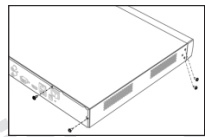
デバイスカバーを再度取り付け、ネジを締めます。

(2) 底面固定式の取り付け

HDDをデバイスの底面に取り付け固定する必要がある場合、「底面固定式の取り付け」を行います。

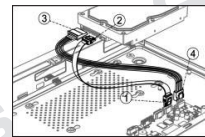
Step.1

パネルのネジを外し、デバイスからカバーを取り外します。



Step.2

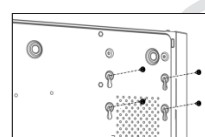
データケーブルと電源ケーブルを接続します。



- ① データケーブルの一方の端をデバイスのマザーボードに接続し、もう一方の端をHDDに接続します。
- ② 電源ケーブルの一端をHDDに接続し、もう一方の端をデバイスのマザーボードに接続します。

Step.3

デバイスをセットアップし、デバイス下部の取付穴に合わせて、HDDをネジで固定します。



Step.4

(オプション) Step.1~3までの手順を繰り返し、他のHDDを取り付けます。

Step.5

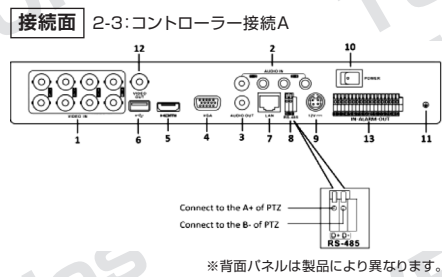
デバイスカバーを再度取り付け、ネジを締めます。

裏面に続きます →

2-3:RS-485とコントローラーの接続

下記の手順にてPTZ(パンチルトズーム)カメラをDVRに接続してください。

- Step.1** プラグ可能なブロックをRS-485端子台から外します。
- Step.2** プラグ可能なブロックのオレンジ色の部分を押し下げて、信号ケーブルをスロットに挿入し、オレンジ色の部分を解放します。信号ケーブルがしっかり締まっていることをご確認ください。
- Step.3** PTZのA+を端子台のD+に接続し、コントローラのB-を端子台のD-に接続し、止めネジを締めます。
- Step.4** プラグ可能なブロックを端子ブロックに接続しなおします。



- チェックポイント** コントローラとDVRの両方が接地されていることをご確認ください。

【第3章】メニュー操作

3-1:スタートアップ

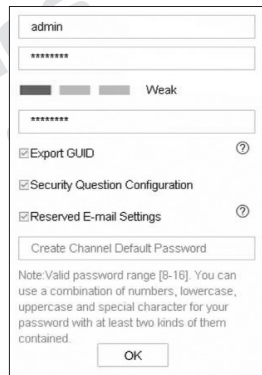
故障の原因となりますので、適切な操作を行ってください。

- Step.1** 電源がコンセントに差し込まれていることをご確認ください。なお、無停電電源装置(UPS)をデバイスと組み合わせてのご使用を推奨しております。
- Step.2** 背面パネルの電源スイッチをONにする電源LEDが白色に変わり、ユニットが起動し始めます。

3-2:デバイスのアクティベーション

初回起動時は、管理者パスワードを設定しデバイスのアクティベーションを行う必要があります。(アクティベーションを行わない場合、機器の使用はできません。)なお、アクティベーションは、ウェブブラウザ、SADP、またはクライアントソフトウェアを利用して行うことも可能です。

- Step.1** 管理者パスワードを2回入力します。
- Step.2** パスワードを入力し、デバイスに接続されているIPカメラのアクティベーションを行います。
- Step.3** 必要に応じて、「Export GUID(パスワードリセット用GUIDのエクスポート)」、「Security Question Configuration(秘密の質問)」、または「Reserved E-mail Settings(予約済みの電子メール設定)」で、パスワードをリセットしてください。*変更したパスワードは忘れないようにご注意ください。
- Step.4** [OK]を選択してパスワードを保存し、デバイスのアクティベーションを行います。



3-2:管理者パスワードの設定画面

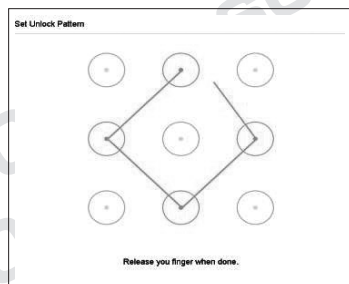
警告:強力なパスワードを推奨

製品のセキュリティを高めるために、パスワードは**大文字・小文字・数字・特殊文字の内、少なくとも3つ含む8文字以上のもの**のご使用を推奨いたします。またパスワードの変更を定期的に行うと、製品をより安全にご使用いただけます。

3-3:ロック解除パターンを設定する

管理者の場合、デバイスログインのロック解除パターンの設定が可能です。デバイスのアクティベーション後、設定を行ってください。

- Step.1** 画面上の9つのドットの間にパターンを描き、パターンが完成したらマウスを離します。
 - パターンを描くには、少なくとも4つのドットを接続します。
 - 各ドットは1回のみ接続できます。
- Step.2** 同じパターンをもう一度描いて確認します。2つのパターンが一致すると、ロック解除パターンの設定は完了です。
- Step.3** 今後ログイン時にロック解除パターンの入力を要求されますのでその際に設定したパターンを入力してください。



3-3:パターンの描画

3-4:ログアウト、シャットダウン、再起動について

システムからログアウト、デバイスのシャットダウン、再起動を行うことが可能です。

- Step.1** メニューバーの電源アイコン(⏻)を選択します。
- Step.2** [ログアウト]、[シャットダウン]、または[再起動]を選択します。システムからログアウトすると、画面のメニュー操作が無効になります。システムのロックを解除するには、ロック解除パターン、管理者パスワード、またはユーザー名とパスワードが必要です。



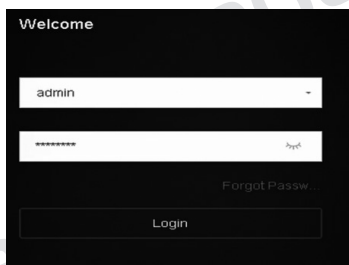
3-4:信号入力ステータス

3-5:ユーザーログイン

ログアウト後、ユーザーログインを行う場合は、ロック解除パターン入力画面の右下にある「ユーザー切替」を選択します。

- Step.1** ユーザー名を選択します。
- Step.2** パスワードを入力します。
- Step.3** [OK]を選択してログインします。

*管理者の場合、間違ったパスワードを7回入力すると、アカウントは60秒間ロックされます。オペレーターの場合、間違ったパスワードを5回入力すると、アカウントは60秒間ロックされます。

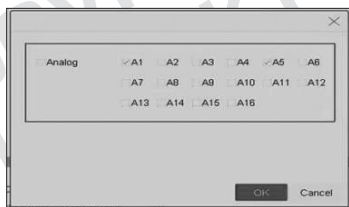


3-5:ユーザーログイン

3-6:信号入力の設定

一部の製品では、アナログおよびIP信号入力タイプと5MP長距離伝送の設定ができます。それ以外の製品では、アナログ信号入力(TurboHD、AHD、HDCVI、CVBS)とIP信号入力を自動的に認識して接続します。

- Step.1** メニューバーが表示されていない時は画面を右クリックします。
- Step.2** [カメラ] > [アナログ]を選択します。信号入力ステータスインターフェイスは、製品によって異なります。
- Step.3** 異なる信号入力タイプを選択するためにチェックしてください。例)HD / CVBSとIP
- Step.4** 適用を選択して、再起動をします。
- Step.5** チャンネルを選択して、5MPの長距離伝送を有効にします。
- Step.6** 設定を保存します。

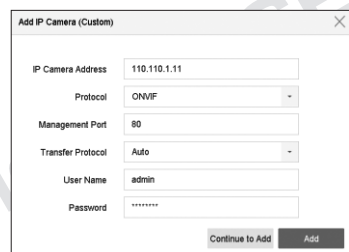


3-6:5MP長距離伝送設定

3-7:IPカメラの追加

IPカメラをデバイスの接続リストに追加してください。

- 始める前に** ネットワーク接続が正しく行われており、追加するIPカメラがすでにアクティベーションされていることをご確認ください。
- Step.1** メニューバーが表示されていない時は画面を右クリックします。
- Step.2** [カメラ] > [IPカメラ]を選択します。信号入力ステータスインターフェイスは、製品によって異なります。
- Step.3** タイトルバーの[カスタム追加]を選択します。
- Step.4** 追加するIPカメラのIPアドレス、プロトコル、管理ポート、およびその他の情報を入力します。
- Step.5** IPカメラのログインユーザー名とパスワードを入力します。
- Step.6** [追加]を選択します。



3-7:IPカメラの追加

3-8:PoCカメラを接続する

一部の製品は、PoC(Power over Coaxitron)カメラの接続が可能です。DVRは、接続されたPoCカメラを自動的に検出し、同軸通信を介して消費電力を管理し、同軸ケーブルを介して電力を供給します。

始める前に

- デバイスがPoC(Power over Coaxitron)カメラ接続をサポートしていることをご確認ください。
- PoCカメラをDVRに接続します。

- Step.1** [カメラ] > [PoCステータス]に移動します。
- Step.2** 必要に応じて、チャンネルのPoCカメラをオンにします。
- Step.3** 接続されているPoCカメラのステータスを確認します。

DVRの消費電力がAFカメラの消費電力よりも低い場合	AFまたはATカメラを接続すると、ビデオがなく、ライブビュー画像上に「PoCの電力が不足しています」が表示されます。
DVRの消費電力がAFカメラよりも高く、ATカメラよりも低い場合	AFカメラを接続すると正常に電源が入ります。ATカメラが接続されている場合、デジタルビデオレコーダークイックスタートガイド12の電源がオンになってからオフになり、ビデオがなく、ライブビュー画像上に「InsufficientPowerforPoC」が表示されます。
DVRの消費電力がATカメラよりも高い場合	AFまたはATカメラを接続すると正常に電源が入ります。

- Step.4** 接続されているAFまたはATカメラ番号と接続可能なカメラ番号を確認します。接続可能なAT/AFカメラの最大数はDVRの製品によって異なります。

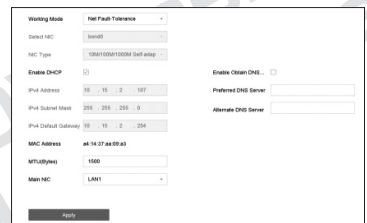
警告 互換性のあるPoCカメラを使用していない場合、PoC機能は使用することができません。使用を続けた場合、カメラおよび録画装置側に損傷を与える可能性があります。

3-9:ネットワーク設定

(1)一般設定について

DVR over networkを操作する前に、ネットワーク設定を設定してください。

- Step.1** [システム] > [ネットワーク設定] > [TCP/IP]に移動します。
- Step.2** [TCP/IP]では、NICタイプ、IPv4アドレス、IPv4 Subnetマスク、IPv4デフォルトゲートウェイ、MTU、およびDNSサーバーを設定できます。
- Step.3** [適用]を選択し、設定を保存します。



3-9:ネットワーク設定

(2)「Guarding Vision」について

「Guarding Vision」は、接続されたデバイスにアクセスして管理するためのアプリケーションとプラットフォームサービスです。ネットワークに繋がっていればどこでも監視内容をご確認いただけます。

- Step.1** [システム] > [ネットワーク設定] > [詳細設定] > [プラットフォームアクセス]に移動します。
- Step.2** 初めGuarding Visionは無効になっています。[有効化]をオンにして、機能をアクティブにします。次に、サービス条件がポップアップ表示されます。
 - ①検証コードを6~12文字の英数字(大文字・小文字は区別されます)で設定します。
 - *検証コードはデフォルトでは空です。
 - ②QRコードをスキャンして、サービス規約とプライバシーに関する声明をご確認ください。
 - ③Guarding Visionサービスにインターネットアクセスが必要であることを確認し、チェックボックスにチェックを入れます。
 - ④[OK]を選択して設定を保存します。
- Step.3** (オプション) [カスタム]をオンにして、必要に応じてサーバーアドレスを入力します。
- Step.4** (オプション) [ストリーム暗号化を有効にする]をオンにします。リモートアクセスとライブビューには設定した検証コードが必要です。
- Step.5** (オプション) デバイスが現在のGuarding Visionアカウントでバンドを解除する必要がある場合は、[バンド解除]を選択します。
- Step.6** [適用]を選択します。設定後、Guarding VisionアプリまたはWebサイトからデバイスにアクセスして管理できます。

3-10:ライブビュー

- ライブビューモードに入ります。
- ウィンドウを選択後、リストからカメラをダブルクリックして、ビデオを再生します。
- 再生ウィンドウ下部にあるツールバーより、簡易再生、PTZコントロール、デジタルズーム、画像調整、音声の有効/ミュート、録画の開始/停止、キャプチャ、情報の表示などの操作ができます。

3-11:録画設定

ライブビューモードでカメラウィンドウを選択し、ツールバー内の録画開始ボタンを選択して録画を開始します。

始める前に

ハードディスクがすでにインストールされていることをご確認ください。ハードディスクがインストールされていない場合は、インストールをして初期化してください。

3-12:再生

ハードディスク内に記録した映像および画像は、日時指定の上で再生することができます。

【機能】 簡易再生/指定チャンネルの終日再生・通常/イベント/スマート/タグ/システムログ/サブ期間/録画ファイル検索

- Step.1** 再生モードに入ります。
- Step.2** リスト内のチャンネルを選択してください。
- Step.3** 「カスタム検索」を選択して、カレンダーの日付を選択します。
- Step.4** インターフェイスの下部にあるツールバーを使用して、再生のコントロールができます。



3-12:再生

3-13:バックアップ方法

ライブビューモードにしてからメニューバーにある「ファイル管理」→「すべてのファイル」に進み、バックアップを保存したいデータの日時を設定し「検索」を選択します。USBデバイスを差し込み、保存したいデータを選択し、エクスポートを選択します。もし再生ソフトをダウンロードしていない場合は、再生ソフトも併せてダウンロードしてください。

【第4章】ウェブブラウザによるアクセス

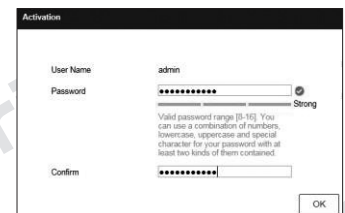
- チェックポイント** インターネットにアクセスできる製品は、ネットワークセキュリティのリスクにさらされる可能性があるため、お客様自身でセキュリティ対策を講じるようお願いいたします。製品が正常に動作しない場合は、弊社サポートまでご連絡ください。

ウェブブラウザを介してデバイスにアクセスできます。

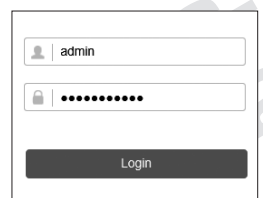
【対応ブラウザ】 Internet Explorer 8.0、Internet Explorer 9.0、Internet Explorer 10.0、Apple Safari、Mozilla Firefox、およびGoogleChrome

- Step.1** ウェブブラウザを開き、デバイスのIPアドレスを入力して、Enterキーを押します。
- Step.2** デバイスにログインします。
 - 【デバイスがアクティベーションされていない場合】初めに管理者アカウントのパスワードを設定し、デバイスのアクティベーション行ってください。詳しくは「3-2-3-3」をご覧ください。
- Step.3** ライブビデオを表示する前にプラグインをインストールし、カメラの管理を行います。画面の案内に従って、プラグインをインストールしてください。

- プラグインのインストールが反映されない場合は、お手数ですが一度ウェブブラウザを閉じて、再度起動を行ってください。
- ログイン後、ライブビュー、再生、ログ検索、設定など、デバイスの操作と設定ができます。



デバイスのアクティベーション



ログイン